

小向神社回覧

守部祭・稲荷祭のお知らせ



日時 4月4日(土) 午後2時より
場所 小向神社
当番 4班の皆様

〔守部祭〕

国学者の橋守部は、1781(天明元)年4月8日、小向庄屋飯田長十郎元親の長男として生まれました。12歳で小向を離れ、21歳で江戸に居を構え、学問に専念します。60歳を超えてから研究が実を結び、「天保の国学四大家」と称せられました。1849(嘉永2)年69歳で没するまでに、多くの著書を出しています。この威徳を讃えて、昭和9(1939)年から小向神社の神として祀っています。

〔稲荷祭〕

この神様は、もともと稲の神様で、「稲生り」(いねなり)と呼ばれました。これが「いなり」になり、そのお姿が稲を荷う形だったので、「稲荷」(いなり)と書かれるようになりました。稲がたわわに実ると事業が繁盛することとが似通っていることから商売・事業の神様として信仰を集めるようになっていきました。

小向神社ではホームページを作成してあります。

<http://obukeshrine.com>

年間の祭礼の日時などでわからないことがあれば、そちらをご参照ください。

令和2年3月吉日

小向神社氏子総代